

重点指導項目 「心身の成長」

指導のポイント「心身の成長について考えさせ、自他を大切にできる態度や行動に気づかせたい」

学級活動

「適応と成長及び健康安全」

<ねらい>

生命のもつ偉大な力を敬い、自他の生命を尊重する態度を育てるとともに、新しい生命を生み出す体へと変化している自分の成長を受け止め、これからの生活について考えさせる。

<流れ>

- 1 自分がこの地球上にデビューした日について考えよう。
- 2 資料「あなたはすごい力で生まれてきた」を読み、赤ちゃんと母親の共同作業（出産のしくみ）を知ろう。
- 3 誰もがすごい力（自分が生まれようとする力、母親が産み出そうとする力、いのちそのものの力、自分自身の生きようとする力）を秘めて生まれてきたことを知り、自他の生命を尊重する態度や行動が必要なことを理解しよう。
- 4 新しい生命を生み出す体へと変化している自分の成長を受け止め、これからの生活の仕方考えよう。

これからどう生活していきたい？

- ・両親に感謝して、自分の命を大切にする。
- ・他の人の命も大切にする。
- ・自分の言動に責任を持つ。
- ・将来、親になるために今は勉強をがんばりたい。
- ・健康な生活を送りたい。

保健体育

「生殖にかかわる機能の成熟」

<ねらい>

思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠が可能となることを理解させる。

<流れ>

- 1 受精・妊娠のしくみを知ろう。
- 2 胎児の成長・生命誕生のしくみを理解しよう。
- 3 自分の体が生命誕生の可能性を持ったことを理解しよう。

生命を生み出すために自分の体にどんな変化が起こるのか？

- ・ホルモンの働きにより生殖器（精巣・卵巣）が発達する。
 - ・男子では射精が見られる。
 - ・女子では月経が見られる。
- 4 自分や異性の体について正しい知識を持ち、お互いを大切にしたい責任ある行動が必要であることを理解しよう。

学校行事

「定期健康診断（身体計測）」

（事前・事後指導をとおして）

<ねらい>

体が年齢に伴って変化すること、体の発育・発達には個人差があること、思春期になると体に変化が起こり、異性への関心も芽生えること、調和のとれた食事、適切な運動、休養及び睡眠が必要なことを理解させる。

<流れ>

- 1 体の発育には個人差があることを理解し、自分の成長について喜びや期待を持とう。

これまでの身長伸びを調べ、自分がどのように成長してきたのか考えよう。

- 小さい頃の手形と現在の手などを比べ、どのように成長してきたか調べる方法を考えよう。
 - 学年毎の身長や伸びを棒グラフに表し、自分の身長の変化を調べよう。
 - 伸び方の違いを話し合わせ、成長の仕方について話し合おう。
 - これからの自分の成長について日常生活の中から予想しよう。
- 2 思春期には体つきに変化が起こり、男女の特徴が現れることを知ろう。
 - 3 思春期には初経、精通などが起こったり、異性への関心が芽生えたりすること、思春期の変化は、だれにでも起こる、大人の体に近づいているしるしであることを知ろう。
 - 4 体がよりよく育つためには、調和のとれた食事、適切な運動、十分な休養・睡眠が必要であることを知ろう。